

平成19年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ムギ（網斑病，うどんこ病）

平成20年3月19日
鳥取県病害虫防除所

1 発生状況（3月18日現在）

（1）網斑病

発生ほ場率は77.8%で、4月上旬の平年値（平年値：60.6%）を既に上回っている。

発生ほ場における平均発病茎率は8.1%であるが、一部のほ場では、発病茎率が50%を超えているほ場も見られる。

（2）うどんこ病

発生ほ場率は77.8%で、4月上旬の平年値（平年値：13.8%）を既に上回っている。また、一部のほ場では、下葉の枯れ上がりとともに上位葉への病斑の進展が見られている。

2 今後の予想

（網斑病）（うどんこ病）

今後、発生に好適な気象条件となることが予想されることから、とくに、過繁茂のほ場では、今後の発生増加に注意が必要である。

根拠

平成20年3月14日、広島地方気象台発表の向こう1ヶ月の気象予報によると、気温は、高い確率50%、平年並の確率30%、降水量は、高い確率30%、平年並の確率40%と予想されている。

3 防除上注意すべき事項

（1）網斑病

ア 発生ほ場では、出穂期～穂揃い期にチルト乳剤25（1，000倍液、使用液量60～150リットル/10a）を用いて防除を行う。

イ 本病は種子伝染するため、発病ほ場から採種しない。

（2）うどんこ病

ア 葉色が濃く、過繁茂のほ場では多発の恐れがあるので注意する。

イ 麦栽培指導指針等を参考にして防除を行う。